



美容科で学ぶ1年生の皆さん。卒業後は美容師やヘアメイクアーティスト、ブライダル業界でその力を発揮します

information **旭美容専門学校** ■津市上浜町1-14 ■0120-74-2264 ■www.abic.ac.jp

平成22年にトータルエステティック科を設置。トータルエステティック科には、一般客を対象に、学生が施術運営を行うサロン「ラバージュ」があるのも大きな特徴です。在学中からサロンで実践的に学び、卒業後の就職先で即戦力となるのが狙いです。また、「母親世代に使ってもらいたい」と開発したオリジナルコスメ「ジョリレヴ」を昨年販売。学生プロデュースのコスメを販売するのは初めての試みです。

両科に共通しているのが、担任制による細やかな指導。一人ひとりの目標や進路に合わせてサポートしています。「担任と学校が二人三脚で学生をバックアップしています」と入試広報の西川裕希也さん。

コンテストでの上位入賞を目指す学生は、授業開始前の朝練や、放課後練習に参加。実技練習の際には先生の指導も受けられるなど、充実した環境で技術を習得しています。

学生の就職を支援するため、専任で就職指導課を設置。第一線の現場で働く卒業生やサロンオーナーの授業など、入学時から就職に向けた教育を充実させ、希望者就職率100%を誇っています。

の提携です。1年次の5月にはイギリスの「ヴィダルサスーン」から講師が来校。12月には、希望者20人がイギリスでの海外実習を受けています。国内だけでなく海外でも活躍し、広い視点を持っていた初代校長の信念が今も受け継がれているのです。

担任制と就職指導課で就職率100%を実現



1年生にとって難関のひとつがパーマを巻く技術です。練習を積み重ねることで苦手意識を克服し、現場で役に立つ実践的な技術を身につけます

巻頭特集 旭美容専門学校

同じ夢を持つ仲間と共に美容師を目指す!

専門能力を身につけたスペシャリストの養成を教育目標に掲げる旭美容専門学校。きめ細やかな指導を特徴とし、これまでに1万人を超える卒業生を輩出してきました。来年で創立70周年。世界で活躍する人材を津から輩出するため、さらなる発展を目指しています。

美のスペシャリストを育てる三重県初の美容専門学校

「美しくりたい」という思いは人生を豊かにし、生活に彩りと活気をもたらします。そんな人々の願いを叶える美のスペシャリストを輩出してきたのが、旭美容専門学校です。

初代校長を務めた長谷川初子さんは戦前、韓国の釜山で、両親とともに3軒の美容室を営んでいました。大阪で学んだ最新技術を韓国で普及。働く女性の先駆けとして積極的に活動します。第2次世界大戦で敗北を喫した日本。昭和20年に終戦を迎えると、釜山にいた長谷川さんは、店の閉店を余儀なくされ、日本へ帰国。父の故郷である三重県津市で、美容室を開業します。

「空襲によって市内の7割が焼け野原となっていたそうです。着るものも食べるものも充分でない戦後まもない時期にもかかわらず、店は大変繁盛しました。苦しい生活の中でも、「少しでも綺麗でありたい」という思いが強かったのでしょう」と長谷川雅敏校長は話します。

繁盛店を切り盛りしながら、業界の人材不足を憂っていた長谷川さん。理容、美容業界を支える人材を育成



旭美容専門学校 校長 **長谷川雅敏**さん
美容科ではまつ毛エクステンションや着付けなども指導。学生が幅広い技術を得られる学校を目指しています

0%を誇っています。

毎年10月には「津まつり」にもブースを出展。フェイスペイントやハンドマッサージの施術体験を提供し、地域との交流も図っています。

津市から全国、そして世界に羽ばたく人材を育てる旭美容専門学校。多くの卒業生が津市内でも開業しており、中には海外に支店を持つなど、幅広く活躍する人もいます。

専門的な技術はもちろん、顧客一人ひとりを大切にできる人間力を高める教育に注力。「今後も多様化する美に応じて必要なスキルが身につく学校を目指していきたいです」と長谷川校長は意気込みます。



(左)1年生が12月に行うイギリスへの海外研修。ロンドンのサスーンアカデミーで一流技術に触れます。忙しい授業の合間をぬって観光も楽しめます(右)学校での一大イベントが秋の学園祭「abic beauty stage」。衣装制作を始め、ショーのすべてを学生主体で作っています

文/南部武寛 写真/アドライフスタジオ デザイン/Beanstalk 白石純也

したいと、さまざまな人の協力を得て、昭和24年に旭美容専門学校の前身となる旭服飾美容専門学校を開校しました。三重県で初となる理容師美容師の養成校でした。

3つのコースで専門性を学ぶ海外へ目を向けた指導

旭美容専門学校は、津市内で何度か移転をしたのち、現在は上浜町に校舎を構えています。平成20年には本館と南館を改築。美容実習室やフォトスタジオ、デモンストラーションルームなど、設備を充実させ、今まで以上に学びやすい環境をつくりました。

現在は美容科とトータルエステティック科の2科を設置。美容科では、1年次に基礎を学べます。学生は職人が手作りしたハサミなど、卒業後も使える本格的な道具を入学時に購入。ハサミの正しい扱い方を学ぶほか、髪の切り方やパーマの技術も修得します。

基礎科目だけでなく、ファッションデザインやメイク、着付けなどの科目も受講可能。さまざまな科目を学び、コース選択に役立てています。

2年次から3つのコースに分かれてより専門的な技術を学びます。「トータル・ヘアモードコース」は、卒業後すぐに活躍できる美容師を目指すコース。髪を安全で適格に補修し、個人の髪質に応じた提案ができる技能を持つヘアケアマイスターの資格を取得できるのも利点です。髪に加えてメイクに関する知識を身につけるのが「ヘア&メイクコース」。「ブライダル・スタイリストコース」



学園祭ではクラスが一つになり、達成感を得ることができました! 将来はヘアメイクの道に進みたいです

美容科1年生 **小林紗瑛**さん



卒業生の姉に影響されました。ヘアアレンジなど、何でもできる美容師を目指します!

美容科1年生 **土岐典史**さん



SPC全国決勝大会で優秀賞を受賞しました。1年生での受賞が自信になりましたが、当日は緊張して実力が発揮できなかったと感じています。次の機会でもっと上をめざしたいです

美容科1年生 **國樹杏梨**さん